



学校給食の残渣を活用した地産地消の 取り組みを始めます

桐生市では、学校給食の残渣からできた肥料を使って市内で生産された農作物を、学校給食の食材として利用する地産地消の取り組みを始めます。

- 内容
食品残渣を肥料化する事業者である日本ゼウス工業株式会社に学校給食の残渣（食べ残し）を有償提供し、日本ゼウス工業株式会社が肥料化します。その肥料を使用して桐生市内で栽培された農作物を桐生市学校給食中央共同調理場が食材として仕入れ、学校給食を提供します。
（裏面イメージ図参照）
※児童・生徒・保護者には給食だよりで周知します。
- 肥料化事業者
日本ゼウス工業株式会社（桐生市広沢町三丁目3840）
- 残渣提供開始
令和4年6月23日（木）午後4時30分
場所：桐生市学校給食中央共同調理場（桐生市相生町四丁目333-1）
※以降、原則毎日200キログラム以内を事業者が回収
※肥料はニンジンの作付時に令和4年7月初旬に使用予定
- 食材利用開始
令和4年11月以降の給食で使用
※11月はニンジンを購入する見込み
- その他
本件は市長公約の「経済も地産地消を推進します」に関する取り組みとして実施するものです。



【問い合わせ】
桐生市教育委員会
教育部総務課学校給食中央共同調理場
TEL 0277-46-6510